

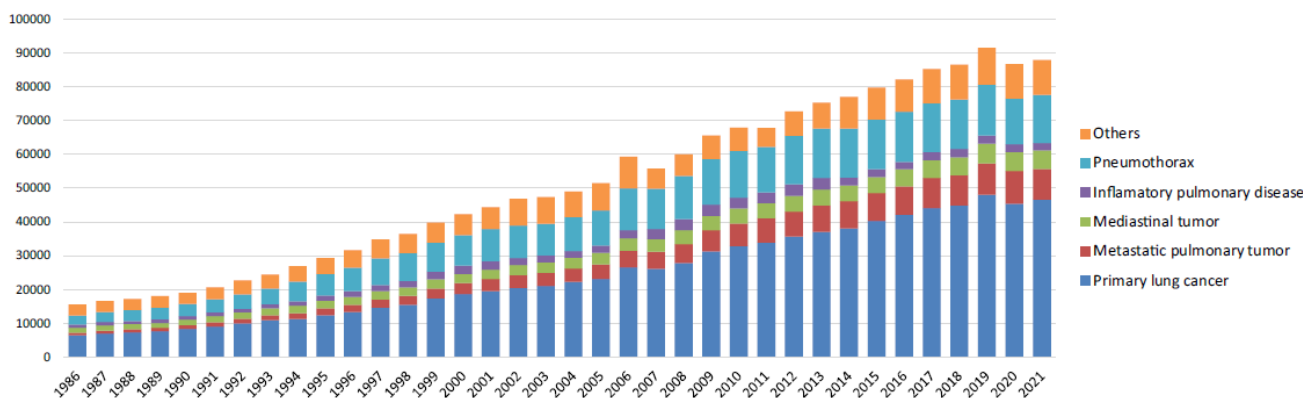
肺がん領域における最近の話題と当院の取り組み

日本胸部外科学会・全国調査の結果公表

日本胸部外科学会による2021年胸部外科手術の全国集計が学会の公式英文雑誌であるGTCSに掲載されました¹⁾。

下記のグラフのように現在、肺がん手術は30年前の5倍以上の約4万6千件となっています。一方で2020年と2021年は2019年と比較し、手術件数がわずかですが、減少しています。これはCOVID-19感染が蔓延した影響と考えられます。

Annual trend of General Thoracic Surgery



1) General Thoracic and Cardiovascular Surgery (2024) 72:254-291

高齢者の肺がん手術がますます増加

上記の全国調査でも肺がん手術を受ける方の約15%が80歳以上です。

当院のデータでは2016年から2020年では18%が80才以上となっており、2004年から2008年の5年間では9%であったので、倍増しているのがわかります。また、**2023年の肺がん手術のなんと36%が80才以上**となっています。

手術適応については呼吸機能検査や心臓検査はもちろん参考にしますが、日頃の活動性をみて、手術を受けて頂くかを提案しています。手術が決まれば、入院前から呼吸器リハビリ、口腔ケア、薬剤指導など様々な面から安全に手術を受けて頂けるようにサポートしています。手術は不適と判断した場合でも、放射線治療を提案できることが少なくありませんので治療の手段は残されています。高齢の患者だからと遠慮せずにご紹介頂ければと思います。



呼吸器外科スタッフ

部長 葉山 牧夫(はやま まきお)

平成9年卒業、令和2年4月から呼吸器外科部長。資格:呼吸器外科専門医・評議員、外科専門医・指導医など

医長 野田 奈緒子(のだ なおこ)

平成20年卒業。資格:呼吸器外科専門医、外科専門医

外来診察日:毎週月曜日・木曜日

(受付 8:30-11:30)

